

地域を学び 地域に学ぶ 和田中学校の取組

和田中学校は鼓南中学校と交流学習の機会をもっています。立地環境が山と海に大きく影響を受ける点で対照的ですが、小規模校であり地域との関わりが深い2校であることから連携が始まりました。

11月10日（金）鼓南中学校の生徒が和田中を訪問し一日を過ごしました。

1学期には和田中が鼓南中を訪問し、今回2回目の開催となりました。交流テーマが「地域」であることから活動の様子を掲載しました。



開会行事の後に各学年に分かれて合同授業を体験しました。両校一緒にグループ学習の場面もありました。



次に、和田の歴史、伝統、文化、産業を知ってもらうために、8つのブースに分かれてポスターセッションを行いました。島地黙雷、津田恒美、三作神楽、島地川、祭り、ホテルの里、高瀬茶、特産物など地域ゆかりの人、伝統芸能、自然や産業を調べ、鼓南中学校の生徒や和田小の児童に伝えると共に、さらに充実した発表になるよう地域の方にそれぞれのテーマに助言をいただきました。

午後からは、佐藤貴志さん（和田の地域起こしグループ「TEAM376」主催、和田の里づくり推進協議会事務局長）が地域づくりにかかわってきた経験



を楽しく分かりやすく、そして熱い思いを話していただきました。映画「高瀬茶に恋した男」作成の経緯を映像を介

して楽しく知ることができました。生徒達にとって地域を大切にすることがどういうことか実感することのできる機会となりました。

その後、グループワークを行い「地域における中学生の役割」というテーマで地域の活性化について話し合い、話し合いの中で佐藤さんから助言をいただきました。地域を考える良い時間が流れました。



地域を学び、地域で学ぶことは地域の実態や学校の既存の教育活動を生かし工夫を加えて無理をせず計画することが大切です。取組をPDCAサイクルを生かして継続的発展的に進める必要もあります。

就学時健診の機会を生かした、つながりづくり

11月15日（水）に福川南小学校では就学時健診で保護者の方を対象に「安心を広げるつながりをつくろう」をテーマにワークショップを行いました。

講師の児童ソーシャルワーカー鷲見雅子さんによって参加者32名の新1年保護者のつながり、家庭での親子のつながり、学校と保護者のつながりの大切さを意識するグループワークを進めていきました。子育ての仲間として交流できる人間関係の大切さや教職員との適切な関係の重要さに気付く活動をおして、講師と参加者のつながりも生まれました。



今後、継続的に家庭教育を支援していくことが期待されます。